

とも通信

社会福祉法人
パーソナル・アシスタンス とも
〒2790022 千葉県浦安市今川1-14-52
TEL:047-304-8808
FAX:047-304-8821

あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願いいたします

1さん：カラフル

あけましておめでとうございます。

昨年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。法人にとって新年は、年度で計画したことを残り3か月でやり切っていくために、改めてスタートを切るよい機会です。今年度、私たちとは「支援の質を今一度見直し、質を高めて行こう!」をテーマに、各事業所が事業計画の元、外部の方々の協力も得ながら取り組んでいます。また、20年以上経てきた法人として、時代の流れや社会の変化に柔軟に対応できる組織でありたいと考え、組織改革を進めるための取り組みも昨年から本格的に始めました。昨年秋の大きな出来事としては、寄付金と三菱財団の助成を受け、寺田靖範氏監督による「江里はみんなと生きていく」という映画を制作したことです。昨年秋には一般上映が始まり、今年も全国各地で上映されることになりました。映画は障がいがある当事者を主体とし、教育、医

療、支援などの現場の姿を通して、ともに生きることを多くの方に考えてもらう内容になっています。一人でも多くの人にご覧になっていただき、福祉の仕事に従事する方々の真摯な思いや姿が伝わることを願っています。また、映画が公開されたことで、昨年12月3日には、映画の主人公である西田江里が毎日新聞朝刊の「ひと」欄で「ドキュメンタリーの主役になった重度障害者」として紹介されました。彼女のような重い障がいを持つ人の前向きな姿勢が、全国紙に掲載されることは大きな意味があると思います。今年もともは、当事者主体の支援を行うことはもちろん、職員にとっても働きやすい法人であるように、全員で努力してまいります。新しい年が皆様にとって、より良い年でありますようにお祈り申し上げます。

理事長 西田良枝

わたしの アート展

アウトサイダーアート展を9月24日
(火)～9月30日(月)の1週間、ア
トレ新浦安店1階ガーデンテラス
にて開催しました。出展者の方に、
その後の感想を聞きました！



作品タイトル：夏のテーブル



Yさん

アート展への出品は今回が初めてです。スタッフに「アート展に出してみない？」と勧められたので、出展しました。絵を描き始めたきっかけは、昔からアニメ鑑賞や漫画を読むことが好きで、その時に絵を描ける人はいいなあ、自分も漫画家のように絵を描けるようになればなあ、趣味として絵を描き続けられたらなあと思い、独学で絵の勉強を始めました。絵を描き始めると、集中してずっと絵を描き続けている自分があります。家ではパソコンで絵を描いています。1日中絵を描き、疲れたら違うことをして、また描くという繰り返しで絵を描いています。マリーナテラスの美術の時間に、先生が用意してくださったモチーフを描き、「夏のカフェ」「夏のテーブル」を完成させました。「夏のカフェ」は夏っぽさを表現し、「夏のテーブル」はリアルな野菜を表現したいと思い描きました。先生にアドバイスをいただきながら描き、勉強にもなりました。これからも趣味として絵を描いていきたいです。

支援者より：自分の考えをしっかりと持っていて、自分のやりたいことに向かって前へ進むことのできる30代の男性です。マリーナテラスに来て、フリーの時間に長時間集中して、絵を描く姿がとても印象的です。絵を描くことが大好きで、自分で絵の勉強もしていると聞き、「美術の時間に、先生にアドバイスをもらうこともできるよ」と勧め、教室に参加されました。先生に質問をしながら、真剣な表情で描かれていました。優しく、ゆったりとした時間が流れているような素敵な作品となりました。



作品タイトル：幸福を招く猫たち



Fさん

自分の気持ちを絵に表現することができるので、絵を描くことが大好きです。先生と会話をしながら絵を描くことができるマリーナテラスの美術の時間が大好きです。この作品も先生にアドバイスをいただきながら、描きました。これからもどんどんいい作品を描いて、みんなに見てもらって、いろいろと感じてもらえたらいいなあと思います。一緒に絵を描く、美術の仲間も増やしたいです!!アート展へ出展することを、毎年楽しみにしています。

支援者より：いつも真剣に美術教室に参加されています。モチーフをじっくりと見ながら描き、見たままを描くのではなく、創造を膨らませて描かれていて、とてもユーモアのある個性的な作品に仕上がります。先生のことが大好きで美術の時間が癒しの時間だとおっしゃられています。先生と楽しそうにおしゃべりをしながら、生き生きと絵を描く姿がとても印象的です。



Mちゃん：かんこくの国のおうさま



Nさん：小物入れ



Iさん：カラフル



Sさん：きゅうりとりんご



西田江里さん：お正月

今回も各事業所を利用している6歳から60歳代と幅広い年代の利用者さんが思いのこもった作品を出品しました。テーマは『混ざり合う個性』。描く方法も決まりはなく、自ら筆をとり、自由に描くケースやケアスタッフに筆を持つ手を支えてもらったり、皆で協力して大きな貼り絵を作成したりとアウトサイダーの名の通り、個性豊かに自由に描いています。出展数は過去最高の68作品。毎回来ていただいている来場者様からも「年々良くなっている気がする。毎回、楽しみにしています」との声もいただいております。来場してアンケートにお答えいただいた方には、今回と過去の人気作品からピックアップした作品をポストカードにしてプレゼントしました。こちらも好評で、「かわいい。部屋に飾っておきたい」と話していたお子

さんもいらっしゃいました。会期中は出展者でもあり、当法人の職員でもある西田江里もアテンドに入りました。アート展会期後、自らが主人公のドキュメンタリー映画「江里はみんなと生きていく」が上映されるため、その案内も兼ねて、ケアスタッフとともに来場者への挨拶や絵の説明などを行い、会場を盛り上げました。最後に作品を応募していただいた利用者さん、会期中にご来場してくださいました皆さま、そしてアトレ新浦安店の皆さまのご協力に、心より感謝申し上げます。

新 浦 安 ア ト レ

第20回目となるアウトサイダーアート展。常に関わって下さっていたアトレ新浦安店のメンバーに感想をお聞きました。

ア ウ ト サ イ ダ ー



ア ー ト 展 に つ い て

担 当 社 員 の K さ ん に

この度は、第20回アウトサイダーアート展の開催、誠にありがとうございます。作者の皆様が創り上げた個性あふれる素晴らしい作品の数々が、会場を訪れたお客様に感動を届けてくださり、心より感謝申し上げます。2010年に、当時副店長であったOが「ほっぷ」を訪れ、「障がいのある人もない人も、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指す」という理念に共鳴し、展覧会開催をお声がけさせていただいて以来、アウトサイダーアート展が第20回という大きな節目を迎えられたことを、大変嬉しく思っております。こうして長きにわたり取り組みを継続できたのは、担当者が変わってもなお、この活動を大切に思い続けてきたアトレ新浦安と、パーソナル・アシスタンスともの皆様の強い志と熱意の賜物です。この場をお借りして、改めて深く感謝申し上げます。アトレ新浦安は、地域活性化を目指し、地域共創や街の魅力発信に積極的に取り組んでおります。行政や学校、福祉、地域団体と連携を深めながら、地域社会のつながりをより強固なものとし、課題解決に向けて邁進してまいります。そして、未来に向けて感謝の循環を広げ、皆様と共に歩んでいける地域づくりを目指していきたいと考えております。パーソナル・アシスタンスともの皆様とこれからも力を合わせ、「ともに生き、ともに支え与え合う」共生社会づくりに貢献してまいります。



担当社員のKさんと、出展者の西田江里さん

聞
い
て
み
た

新 入 社 員 の E さ ん に

「第20回アウトサイダーアート展の運営に関わることができ、とても嬉しく思っております。特に、アトレという多くの人が訪れるフラットな環境で開催できたこと、そしてパーソナル・アシスタンスともの皆様と直接お話しできたことは、私にとって貴重な経験となりました。また、作者の方々にお会いすることができなかった方々も、「作品」を通じて心がつながり、多くのお客様に感動や癒しをお届けできたのではないかと感じました。さらに、パーソナル・アシスタンスともの皆様がとても親切で温かく、明るいエネルギーに満ちている姿には感銘を受けました。『この仕事を続けるためには、こうした強い意志と情熱が必要なのだろう』と深く感じ、心から尊敬の念を抱きました。このたびは多くの学びをいただき、ありがとうございました。私はこれまで、障がいをお持ちの方々と接点を持つ機会がありませんでしたが、今回担当させていただいたことで、『こんなにも気さくに、自然に関われるのだ』と実感しました。江里さんをはじめ利用者の方々と交流を通じて、たくさんの共感と発見がありました。たとえ身体に不自由があっても、心は皆同じだということを、改めて深く感じました。人と人が直接会い、対話を重ねることで、互いの理解が深まり、そこに喜びや楽しさが生まれる、そんな当たり前のことに、あらためて気づかされました。アウトサイダーアート展を通じて、このような『きっかけ』を生み出せることに、大きな意義を感じています。これからも、このつながりを大切にしていきたいと思います。」



新入社員のEさん

聞
い
て
み
た

昨年、9月ともに **スタッフに**
入職してすぐに担 **聞いてみた**
当したのがこのアウトサイダーアート展でした。途中から参加したため、企画というよりは、準備、運営が主な業務でした。入職したばかりでわけもわからず、正直、業務をこなしていただけて精いっぱいでした。その私の意識が変わったのは会期中にアテンドについた時です。出展した利用者さんがご家族と来場していたのですが、満面の笑顔でご家族と作品を見学していました。また、たまたま、通りかかったと思われる小さな娘さんを連れた母娘が立ち止まり、「かわいいね」「あったかくなるね」など二人で会話しながら、長い時間見ていかれました。他にも沢山の笑顔を見ることができて、私の意識もただの業務ではなく、「やって良かった」「また、やりたい」に変わっていきました。当初、来場者の多くはともあるいは出展者の家族、友人、関係者が多いイメージでした。会期終了後、アンケートを集計してみると6割以上の方が初めて来場したという方でした。その方たちはちらっと見ただけではなく、興味を持っていただき、何か思うことがありアンケートにも記入いただけていることになります。活動を知っていただくという意味でもとの「皆でともに生きる」という理念に沿ったこのアウトサイダーアート展を継続していきたいと思っています。



出展者の西田江里さん



アトレ社員の方と出展者のソラハレワタルさん

会場アンケート

- 思い思いの絵を自由に描かれていてそれぞれがとても素敵だと思います。
- どれもステキでおしゃれな色使いで楽しい気分になりました。又来たいです。
- このような展示会が多くの人目に触れて、多様な活動が認知されることが増えていけば素晴らしいと思います。日々の活動をこれからも楽しんでください。
- 絵を描いてストレスを発散したくなった。ゆっくり流れる時間に癒しを感じた。
- 何年か前にも見せていただいたが、それから年月がたち、皆すばらしかった。
- 今回始めてきましたが、このような展示会があると知り、感動しました。
- 障がいのあるなしにかかわらず、共に笑顔で過ごせるような元気な作品が多くあり、楽しく鑑賞させていただきました。
- 様々な人が誰でも楽しく描いていて、展示もしたり見たりして幸せな気分を共有できるのいいと思います。
- 作品を見て驚きました。何かお手伝いをしたいと思いました。
- たまたま通りかっただけですが目を惹く作品がたくさんあり、思わず、足を止めて見ていました。美術にはあまり興味がないのですがどの作品もいろいろな思いが伝わってきました。



「とも」を支えてくださる方々へ

ご協力いただいたボランティアの皆様、物品寄付、寄付金をしていただいた皆様、いつもともを支えていただき、ありがとうございます。



ご利用案内

【個別のケアサービス】

- パーソナルケアセンター
 - ・障害福祉サービス（居宅介護・重度訪問介護・行動援護）
 - ・介護保険サービス（訪問介護・介護予防訪問介護）
 - ・移動支援事業・浦安市通院ヘルプサービス事業
 - ・パーソナルケアサービス（制度外の支援）
 - ・介護保険外生活支援サービス
- パーソナル・アシスタンスとも居宅介護支援事業所【休止中】



【緊急時の宿泊も可能な支援】

- 浦安市障がい者等一時ケアセンター事業（指定管理者）



【子どもの発達支援】

- 障害児通所支援事業所 ふあり
（児童発達支援／放課後等デイサービス）
- 障害児通所支援事業所 マリーナ
（児童発達支援／放課後等デイサービス）



【日中一時支援事業】

- 日中一時支援事業所 マリーナテラス
- 日中一時支援事業所 とも



連絡先のご案内

事業名	電話番号	メールアドレス
● パーソナル・アシスタンス とも	047-304-8808 tomo@patomo.jp
● パーソナル・アシスタンス とも（予約専門）	047-304-8811	
● 障害児通所支援事業所 ふあり	047-304-8860 tomo-huali1@patomo.jp
● 障害児通所支援事業所 マリーナ	047-304-8815	
● 相談支援事業所 ふあり	047-304-8860 tomo-huali2@patomo.jp
● 日中一時支援事業所 マリーナテラス	047-304-8815	
● キッチンカフェほっぷ	047-304-8820	
● ハレレア 共同生活援助（グループホーム）	047-304-8808	
● 浦安市基幹相談支援センター（相談窓口）	047-304-8822 tomo-soudan3@patomo.jp
● 相談支援事業所 きかん	070-5588-8822	
● 浦安市障がい者等一時ケアセンター	047-350-8771	
● 訪問看護ステーション とも	047-304-8808	
● パーソナル・アシスタンス とも	070-5561-8808	
福祉用具貸与販売事業所		

FAX 番号 047-304-8821

ホームページ www.patomo.jp



社会福祉法人パーソナル・アシスタンスともご寄付のお願い

社会福祉法人となっても、その財源は今までと何も変わらない現実です。皆様からの寄付は現在行っている社会福祉事業に役立たせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。なお、「とも」への寄付は、以下の税制上の優遇措置があります。

- ◆ 個人の方は、所得税に係る「寄付金控除の対象」になっています。
- ◆ 法人の場合は、一般の寄付金とは別枠で損金の額に算入することができます。
- ◆ 相続や遺贈によって受けた財産を寄付した場合は、その分は相続税の対象外となります。

寄付金
振込先

銀行名：京葉銀行 新浦安支店 口座番号：普通 5429331
口座名義：社会福祉法人パーソナル・アシスタンスとも
理事長 西田良枝

【様々な療育事業】

- イルカスイミングクラブ ● 音楽療法 ● ムーブメント療育
- 卓球教室 ● 造形教室 ● ダンスクラブ ● 体操



【日中活動・就労・機能訓練・余暇等の支援】

- 浦安市斎場内売店運営
- 就労継続支援 B 型事業所 とも
- ・キッチンカフェほっぷ運営
- ・カフェテラスゆう（浦安市老人福祉センター内カフェ）運営
- ハレレア 共同生活援助（グループホーム）



【訪問看護事業】

- 訪問看護ステーション とも



【生活支援のための相談】

- 相談支援事業所 きかん
- ・指定一般相談支援事業（千葉県指定）・指定特定相談支援事業（浦安市指定）・指定障害児相談支援事業（浦安市指定）
- 「相談支援事業所 ふあり」指定特定相談支援事業（浦安市指定）
- ・指定障害児相談支援事業（浦安市指定）



【福祉機器等の貸与・販売】

- 福祉用具のレンタルや販売、日生具、補装具など【休止中】

ボランティア随時募集

◆ 療育に関わるボランティア

イルカスイミングクラブ、生活塾、造形教室、体操教室、音楽療法、ムーブメント療育、ダンス教室
卓球教室のサポート

◆ フリマ・イベントでのお手伝い、ケアルームのおもちゃ消毒など

編集人：社会福祉法人 パーソナル・アシスタンス とも
〒279-0022 千葉県浦安市今川 1-14-52

編集後記 アウトサイダーアート展も皆さまのご協力のもと20回を迎え、多くの方にお越しいただきました。本当にありがとうございました。本年もよろしくお願いいたします。